

東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞

「旅で出会った税」

学校法人足立学園中学校

三年 大槻 建人

部活の疲れもあって、車の中でウトウトしていた。母が突然、「メロデーラインだつてよ!」と声を出した。すると、タイヤに振動を感じた。体に有名な湯もみ唄「草津よいとこ一度はおいで、ハ、ドッコイショ。」と響いた。眠気が吹っ飛び、テンションが上がった。僕は家族といとこで、人生初の草津温泉にやって来た。温泉に入り、食べ歩きの手帳もするぞ!とスマホで予習を始めた。宿に着くと家族ごとに分かれて受付をした。僕の家は、大人3人分のお会計をする。受付のおばさんが「入湯税がおひとり様1泊分、百五十円となります。」と言った。初めて聞く入湯税という言葉。風呂キャンしたら払わなくて良いのか?赤ちゃんも払うのか?部活の合宿で、学校の前にある銭湯の梅の湯に何度も行ったけど、入湯税なんてあったっけ?なんとなく気になった。夕食を終え、帰りの湯畑のまわりを散歩した。照らし出された湯けむりが幻想的だった。何枚も写真を撮った。射的をやって、あげまんやプリンを買い込んで宿に戻った。宿には、3つの源泉、西の河原温泉、湯畑源泉、万代鉱源泉から引いている5つの貸し切り風呂があつて、全制覇した。ヘトヘトになりながら部屋で、いとこと休んでいる時思い切って入湯税について聞いてみた。でも詳しい人がいなくて、皆で入湯税を調べることにした。入湯税とは、温泉に訪れた人が一人一日当たり百五十円程度を、利用する

当日に直接払う。そのお金は温泉がある市町村の収入となり、観光施設の整備、鉱泉源の保護管理施設の整備などに使われていると分かった。草津温泉の象徴とも言えるライトアップされた湯畑の景観維持や湯の花採取のための設備にも使われていた。宿代は泊まった宿の収入となるが、泊まった地域に対して収入が得られる。その収入で、温泉の環境の整備や消防活動に必要な設備を整える。何より、もつと観光客が集まるようにイベントに充てられている。ちなみに、草津温泉では、12歳未満の子供や修学旅行中の中学生も免除されることも分かった。ついでに、梅の湯の場合も調べてみた。結論、梅の湯には入湯税が無かった。共同浴場や一般公衆浴場では入湯税が発生しない。水道水のみを使用した浴場は、鉱泉浴場とはいえないので、入湯税は課税されないという決まりだった。皆で、調べて、楽しい夜を過ごした。帰宅してからも、入湯税について調べてみると、日本独自の税金で海外には存在しないことが分かった。入湯税は、温泉と共存してきた日本の文化の隣にある気がする。人生初の草津温泉は、日本独自の税を僕に教えてくれた。次は、世界に目を向けて、個性的な税金や税の歴史という視点から、調べてみようと思う。